

第5学年国語科学習指導案

日時 平成21年10月14日(水) 5校時

児童 男4名 女9名 計13名

授業者 小野寺 良明

- 1 単元名 目的に応じた伝え方を考えよう(光村5下)
教材名 「ニュース番組作りの現場から」「工夫して発信しよう」

2 単元について

(1) 児童観

児童は、4年教材『『かむこと』の力「アップとルーズで伝える」で、各段落の中心語句及び中心文を捉える学習や段落ごとの要点をまとめる学習をしてきた。また5年教材「サクラソウとトラマルハナバチ」で、文章構成表を作成し各段落の要点をつなぎ、文章全体を要約する活動、さらには最終段落に着目し教材文を通して筆者が最も伝えたいことや訴えたいことを読み取り、要旨をまとめる活動も行った。各段落の中心語句、中心文を見つける力は全体的に付いてきているが、それらを用いて要約できる児童は半数に留まっている。また要旨に必要な語句や文を取捨選択できる児童は多いが、的確に要旨をまとめられる児童は3分の1程度である。しかし、話し合い活動により友達の考えをメモし自分の考えに付け足したり、 unnecessary部分を削除したりし、よりよい文章に改善できる児童が確実に増えてきている。また自分の考えを発表する際、具体例を出したり「もしも～がなかったら」といった話し方をしたりすることにより、自分の考えを相手に理解させようとする児童が増えてきた。昨年度のCRTの結果は、「読む能力」が77.5%(全国69.4%)、学習定着度調査でも「読むこと」が66.4%(岩手県57.8%)と定着率は高い。しかし「内容を要約する」が38%(岩手県40%)、「段落の関係を理解する」が38%(岩手県58%)と正答率に落ち込みが見られ、十分な力にはなっていない。

(2) 教材観

本単元は、ニュース番組の特集の作り方について、全体の流れを時間の進行に沿って学習する教材「ニュース番組作りの現場から」と、教材文の読み取りを生かし、児童自らが情報を発信する「工夫して発信しよう」の2つの構成から成っている。

「ニュース番組作りの現場から」は、時間に沿って報道スタッフの役割や情報収集、編集会議のあり方、伝えたい内容の絞り込み等が分かりやすく整理されており、時系列に沿って大事な事柄に注意して読み取ることができる教材文である。教材文を読み取ることで、数分の特集番組を放送するのに膨大な時間と労力がかかっていることや編集作業の必要性を知り、児童が発信する活動に生かされるものと考えられる。

「工夫して発信しよう」は、児童が関心をもった話題や相手に伝えたい話題を取り上げ、受信者に伝えたいことの中心を明確にしながら発信する学習である。取り上げた話題を分かりやすく伝えるまでの段階として、目的をもった取材方法、確かな情報の獲得、獲得した情報の編集活動を通して、目的に応じた情報の配列・編集について理解を深めることに適した教材であると考えられる。

(3) 指導観

本単元では、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえる力、対象に合わせて伝えたいことを編集して伝える力を身に付けさせたいと考え、各段階において以下の点に留意して指導していく。

「つかむ」段階では、単元のゴールを「ニュースを発信しよう」とし目的意識をもたせる。児童自身にニュース原稿にしてみたい内容を決めさせ、それを分かりやすく伝えるためにはあらゆる情報を獲得する(インタビューする、文献を調べる等)ことが必要であり、それらの中から発信に必要なものを選び編集して伝えなければならないことを知らせる。

「ふかめる」段階では、文章構成表を活用しながら教材文の各段落の中心語句、中心文、要点をとらえ、教材文の概要をとらえさせる。編集作業の過程をつかむために大きなまとまりごとに要約させる。また報道スタッフの願いや筆者のまとめを読み取り、要旨をまとめる。特集を放送するには膨大な時間と労力がかかっており、発信者の思いや視聴者にとって価値のある内容であることをつかませる。

「ひろげる」段階では、初めに教材文でとらえたニュース原稿を書く際の効果的な表現方法を自分の発信に生かすために、発信のモデル原稿の修正点を考えさせる。次に発信に向けて、目的や意図に最もよく合ったものや効果的に伝えられる資料を選び、伝えたい内容がはっきり分かるような文章構成や資料提示などを考えさせる。グループや全体で話し合い活動をし、よりよい発信になるように改善させ、最後は伝えたい相手に向かって発信活動を行う。

本校が作成した指導内容系統表において、本単元で重点的に指導する項目は、要⑥「筆者の意図・意見をとりえることができる」、要⑦「主題や要旨をとらえることができる」である。

3 単元の指導目標・評価規準

(1) 主目標

- ◎文章構成をつかみ、要旨をとらえて、ニュース番組がどのように作られるかを知り、伝えたいことと伝える方法について興味を深める。
- ◎伝えたいことをどのように伝えるかを考え、資料を活用しながら伝える相手に合わせた形にして発信する。

(2) 観点別目標と評価規準

観 点	目 標	評 価 規 準
国語への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ○ニュース番組の特集がどのように作られるのか、スタッフはどのような思いなのか、興味をもって読み進めようとする。 ○自分が興味をもち、伝えたい題材を探し、取材や編集に積極的に取り組もうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ニュース番組の特集ができるまでの過程に興味をもっている。 ②ニュースを探して伝えることに関心をもち、伝え方や内容を工夫しようとしている。
読む能力	<ul style="list-style-type: none"> ○番組作りの大切な点を的確に押さえながら、報道スタッフの願いなどを読み取る。(ウ) ◎番組作りに必要な事柄を時間の順序にしたがって段階ごとに読み取り、要旨をとらえる。(ウ) 	<ul style="list-style-type: none"> ①文章全体を概括的にとらえ、中心文や要点を的確にとらえて読んでいる。 ②ニュース番組の〔特集〕の作り方を理解し、段落ごとに整理して要旨をまとめている。
話す・聞く能力	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の伝えたいことや意図が伝わるように、話の組み立てを工夫しながら、適切な言葉遣いで話す。(イ) ○発信者の伝えたいことをつかみながら、自分の発信と比較したり参考にしたたりし、よりよい内容にまとめる。(エ) 	<ul style="list-style-type: none"> ①既習事項を生かした発信原稿になるように文章を書き換えたり、話の組み立てを工夫しながら発信したりしている。 ②他のよさを見つけ、自分の発信の参考にしたたり取り入れたりしている。
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> ◎編集作業を通して、書く必要のある事柄を整理する。(ア) ◎自分が伝えたいことや相手が知りたいことに関して集めた情報を、目的に合わせて整理し、加工して伝える。(エ) 	<ul style="list-style-type: none"> ①目的や相手を意識し、書く必要のある事柄を整理して書いている。 ②集めた材料を、目的に合わせて整理し、効果的に配列しながら書いている。
言語についての知識・理解・技能	<ul style="list-style-type: none"> ○考えを表現するためにはさまざまな方法があることを理解し、自分の目的や意図に応じた構成を活用する。(イー〔キ〕) 	<ul style="list-style-type: none"> ①さまざまな構成の中から、自分の考えを明確に表現する文や文章構成を取り入れている。

4 単元の指導・評価計画（15時間）

段階	時間	目 標	学 習 活 動 (・主な学習活動 ※指導上の留意点)	評 価 規 準 (評価方法)
つかむ	1 2 3 4	<p>単元の学習活動を見通すことができる。</p> <p>各段落の中心語句、中心部分（または中心文）を見つけ、大まかな文章構成をとらえることができる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">学習内容をつかみ、単元のゴールを決めよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・学習計画表を提示し、単元全体の活動の見通しをもたせ、どのような力を付けていくのかを知らせる。 ・「工夫して発信しよう」では自分が伝えたいことや相手に知って考えて欲しい話題を発信することを知り、発信相手や内容を仮決定する。 ・教材文を読み初発の感想を書く。 ・ニュース番組ができるまでの過程や現場の状況、番組作成に携わるスタッフの役割と彼らの思いを「文章構成表」にまとめる。 ・新出漢字の読み書きを知り、語句の意味調べをする。 <p>※発信内容が見つかりにくい場合は、発信相手と内容の例を挙げ、発信に必然性をもたせる。</p> <p>※小見出しをつける際に、「○○をするアナウンサー」のようにできるだけ体言止めで表現させる。</p>	<p>[関①] 文章構成表を作成し、学習の見通しをもとうとしている。(シート)</p> <p>[関②] 発信したい話題を考え単元のゴールを見据えている。(ノート、観察、発表)</p> <p>[読①] 各段落の概要を把握し、小見出しを考えながら読んでいる。(シート)</p>

ふかめる	5	形式段落②～⑥を読み、話題選びから取材の結果までの過程で大切なことを捉えることができる。	<p>話題選びや取材に大切なことは何かを読み取ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 形式段落②～⑥を読み、話題選びから取材で分かったことまでを読み取る。特に聞き手が知りたいことを取材していくことを知る。 文章構成表を基に、形式段落②～⑥の内容を要約し、話題選びから取材結果までの過程で大切なことを話し合いまとめる。 <p>※取材や資料集めの大切さを感じさせ、自分たちが発信するときも同様の活動を行うことを伝える。</p>	[読②] 話題選びや取材の大切さを読み取り、要約している。(発表、ノート)
	6	形式段落⑦～⑩を読み、撮影から放送までの過程で大切なことを捉えることができる。	<p>さつえいから放送するまでに大切なことは何かを読み取ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 形式段落⑦～⑩を読み、撮影から放送に至るまでを読み取る。 形式段落⑦～⑩の内容を要約し、撮影から放送までで大切なことを話し合いまとめる。 <p>※映像の編集や簡潔な原稿の必要性を感じさせ、自分たちが発信するときも同様の活動を行うことを伝える。</p>	[読②] 撮影や放送に至るまでの大切なことを読み取り、要約している。(発表、ノート)
	7	形式段落⑫を読み、報道スタッフの願いや筆者が伝えたいことをつかみ、要旨をまとめることができる。	<p>報道スタッフの願いや筆者のまとめを読み取り、要旨をまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 形式段落⑫を読み、報道スタッフの願いや筆者のまとめを読み取る。 ニュース番組ができるまでの過程を、掲示等を使って再確認する。 要旨に盛り込む言葉を絞り込み、字数制限(百字以内)を設け要旨をまとめる。 ペア学習により、お互いの考えを交流し合う。 よりよい要旨になるよう、全体で話し合う。 <p>※要旨に戸惑いがある場合は、要旨の出だしや末尾の言葉を決めてから、まとめさせるようにする。</p>	[読②] 段落ごとの中心文や中心語句を用いながら、要旨をまとめている。(発表、ノート)
ひろげる	8 本時	モデル原稿を読み、相手に伝わりやすい表現方法を考えることができる。	<p>相手に伝わりやすいニュース原稿の書き表し方を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師が作成した発信原稿が、教材文でとらえた相手に伝わりやすい表現であるかを話し合い、修正点を指摘しシートに書き込んでいく。 よりよい発信にするための表現方法について確認する。 <p>※「ふかめる」の段階で学んだ相手に伝わりやすいニュース原稿の書き方に沿って、発信モデルの適否を判断させ、自分が発信原稿を作成する際にも気をつけさせる。</p>	[話①] 相手に伝わりやすい発信になるように、モデル原稿の不備や資料提示の効果を指摘し、よりよい発信になるよう修正している。(発表、シート)
	9 10	発信内容を決定し、目的や意図に応じて発信に必要な情報を集めることができる。	<p>発信に必要な情報を集めよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発信相手と内容を結びつけ、どのような方法で情報を集めるかを考える。 インタビューや文献、インターネット等による情報収集をする。 自分が知りたい事柄について納得するまで詳しく聞き出したり調べたりする。 <p>※特にインタビューでは1つの質問のみに終わらせず、聞き返したり派生した質問をしたりするよう促す。</p>	[関②] 目的意識をもって情報収集をしている。(観察)

11 12	伝えたいこと の中心がはっきり するように発信 内容の構成を 考え、ニュース 原稿を作成する ことができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">伝えたいこと の中心を考えながら、編集しよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・収集した情報の中から、発信内容に必要な事柄を選び、効果的な提示の手順を考える。 ・聞き手に分かりやすく伝えるために、収集した情報を加工していく。 ・効果的に発信するために必要な資料（図、写真、地図、絵など）を準備する。 ・伝えたいことの中心が明確になるようなニュース原稿を作成する。 <p>※教材文で報道スタッフが取り組んだ活動を想起させ、編集することのよさや重要性を再確認させる。</p>	<p>[書①] 目的や相手を意識して構成を考えたり書く必要のある事柄を整理して書いたりしている。（原稿、観察）</p> <p>[書②] 集めた材料を、目的に合わせて整理し、効果的に配列しながら書いている。（原稿）</p>
13	よりよい発信 になるような話 し合いをすること ができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">原稿を発表し合い、相手に伝わりやすい表現になっているか話し合おう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・数名が発表し、それらに対して以下の視点に沿った話し合い活動をする。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ①正確な情報を伝えていたか。 ②取材から分かったことを分かりやすく伝えていたか。 ③耳で聞いて分かりやすい言葉を使っていたか。 ④一文が短く、主語と述語の間が短くなっていたか。 ⑤補助資料（写真、表など）を用意していたか。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・よかった点、真似したい点、修正点を出し合い、それらを自分の発表構成にも生かしていく。 ・グループで発表し合い、同様に話し合い活動をし、全員が発表したり意見を言ったりする。 <p>※発表のよさや修正点等を聞き取る手立てとして、「発表チェックシート」を利用し、視点に沿った聞き取りができるようにする。そのチェックシートをもとに話し合い活動をさせる。</p>	<p>[話①] 効果的に発信するための工夫をしている。（発表、観察）</p> <p>[話②] 他の発信を参考にし、よりよい発信になるように自分の表現をまとめている。（シート、ノート、発表）</p>
14	よりよい発信 になるように、 原稿や構成を整理 することができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">発信内容を整理し、ニュース原稿の発信に向けて準備をしよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・前時に指摘されたことを取り入れながら、ニュース原稿や発表構成を再考する。 ・発表に向けた原稿作成や発表練習をする。 ・原稿ばかりに目を向けないように相手を意識した発表になるよう心がける。 ・発表の場の役割分担をする。（司会、会場準備等） <p>※練習では「前よりも～な発表になるよう・・・の部分を変えました。」など、変更の視点を伝えてから発表させ、改善された発信になっていることを意識づける。</p>	<p>[言①] 指摘された点を取り入れながら、よりよい発信になるように原稿を再構成している。（原稿、観察）</p>
15	修正点等を生 かし、ニュース 原稿を発信する ことができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">伝えたいこと の中心をはっきり させて、ニュース を発信しよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・第13時の活動を生かし、相手を意識した発信をする。 ・単元全体を振り返り、身についた力や今後につなげたいことを発表する。 <p>※相手が聞く価値のある話題選び、自分が発信したい話題選びが、ニュース番組を作成する出発点であることや、編集の大切さを最後に再確認させる。</p>	<p>[話①] 話の組み立てや資料提示を工夫しながら発信している。（観察、発表）</p>

5 本時の授業

(1) 目標

◎モデル原稿を読み、相手に伝わりやすい表現方法を考えることができる。

(2) 展開 (□ は中心発問)

段階	学習活動	支援と評価	備考						
つ か む 5 分	<p>1 前時の振り返りと本時の活動を 確認する。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>相手に伝わりやすいニュース原 稿の書き表し方を考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 本時は実際の発信原稿（教師作成）を読み、原稿の書き方を考える時間であることを伝える。 	単 元 計 画 表						
ふ か め る 35 分	<p>3 モデル原稿を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師作成の発信原稿を読み、受信者にとって分かりやすい内容であるか、文章の書き方や長さは適切かなどを考える。（一人学び） <p>4 表現方法について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人学びで考えたことを伝え合う。（ペア学習） 全体場で話し合う。（学び合い） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>相手に伝わりやすいニュース原 稿にするには、どのように修正 すればよいですか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 修正点を考える。（ペア学習） 全体場で話し合う。（学び合い） <p>→ともに、モデル原稿に修正点を書き込んでいく。</p> <p>5 相手に伝わりやすいニュース原 稿の書き表し方を再確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全員で声に出し確認する。 	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>★モデル原稿から、児童に気づかせたい点</p> <p>①正確な情報を伝えていたか。</p> <p>②取材から分かったことを分かりやすく伝えていたか。</p> <p>③耳で聞いて分かりやすい言葉を使っていたか。</p> <p>④一文が短く、主語と述語の間が短くなっていたか。</p> <p>⑤補助資料（写真、表など）を用意していたか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 「○○が～なので分かりにくいです。」のように、根拠を言えるようにする。 リレー発言により、相手との相違点をつかませる。 「○○が～なので分かりにくいです。だから○○を△△にしたほうが相手に伝わりやすいと思います。」「○○を△△にしたほうが伝わりやすいです。わけは、もし○○のままだったら～で伝わりにくいからです。」のように、修正点を具体的に話せるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[話①] モデル原稿が「相手に伝わりやすいニュース原稿の書き方」になっているかを考え、よりよい発信原稿になるよう修正している。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">A</th> <th style="width: 33%;">B</th> <th style="width: 33%;">努力を要する児童への手立て</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="font-size: small;">前時までに確認した「相手に伝わりやすいニュース原稿の書き方」をもとに、原稿の不備を指摘したり、よりよい原稿になるよう修正したりし、自分の考えを明確に表現している。</td> <td style="font-size: small;">友達の意見や全体での学び合いを生かしながら、原稿の不備を指摘したり、よりよい原稿になるよう修正したりし、自分の考えを表現している。</td> <td style="font-size: small;">掲示してある「相手に伝わりやすいニュース原稿の書き方」に沿って書かれているかを一文一文確認させ、修正点がないか考えさせる。</td> </tr> </tbody> </table> </div>	A	B	努力を要する児童への手立て	前時までに確認した「相手に伝わりやすいニュース原稿の書き方」をもとに、原稿の不備を指摘したり、よりよい原稿になるよう修正したりし、自分の考えを明確に表現している。	友達の意見や全体での学び合いを生かしながら、原稿の不備を指摘したり、よりよい原稿になるよう修正したりし、自分の考えを表現している。	掲示してある「相手に伝わりやすいニュース原稿の書き方」に沿って書かれているかを一文一文確認させ、修正点がないか考えさせる。	モ デ ル 原 稿 ノ ー ト 前 時 ま で の 掲 示
A	B	努力を要する児童への手立て							
前時までに確認した「相手に伝わりやすいニュース原稿の書き方」をもとに、原稿の不備を指摘したり、よりよい原稿になるよう修正したりし、自分の考えを明確に表現している。	友達の意見や全体での学び合いを生かしながら、原稿の不備を指摘したり、よりよい原稿になるよう修正したりし、自分の考えを表現している。	掲示してある「相手に伝わりやすいニュース原稿の書き方」に沿って書かれているかを一文一文確認させ、修正点がないか考えさせる。							
ま と め る 5 分	<p>6 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己評価をする。 学習感想をもつ。 <p>7 次時の学習内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本時の課題について、◎○△で評価させる。 感想では、本時を通してどのような力がついたか、学んだことは何かが言えるようにする。 発信内容を決め、発信に向けた準備を進めていくことを伝える。 	ノ ー ト						

(3) 板書計画

<p>◎相手に伝わりやすいニュース原稿の書き方</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 正確な情報を伝える。 ② 取材から分かったことを分かりやすく伝える。 ③ 耳で聞いて分かりやすい言葉を使う。 ④ 一文は短くし、主語と述語の間も短くする。 ⑤ 補助資料（写真、表など）を準備する。 	<p>モデル原稿</p>	<p>課題</p> <p>目的に応じた伝え方を考えよう 工夫して発信しよう</p> <p>相手に伝わりやすいニュース原稿の書き表し方を考えよう。</p>
--	--------------	--

6 座席表

黒 板

<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; height: 80px;"></td> <td style="width: 33%; height: 80px;"></td> <td style="width: 33%; height: 80px;"></td> </tr> </table>					

報道スタッフが感じた驚きや疑問が番組の出発点となり、それを的確に伝えるためには取材や編集が必要であり、視聴者に「知らせたい」「知って考えて欲しい」という願いを込め制作者は番組を作っている。												要旨
まとめ	撮影から放送まで					話題選びと取材					話題提示	段落意味
⑫	⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	段落形式
また その やがて こうした	しかし それは	この さらに	これ その		こうした そして	では それ また これらの	ここまで また それだけで そして このような		まず この	これが そして	それらの また ここ	接続語 指示語
見ている人に知らせる値打ちがあると、 価値を選び、知って考えて欲しいという 願いを込めて、ニュース番組を作っている 報道スタッフ。	火山をよく知ることが、いちばんの防災 であることを最も伝えたかったスタッフ。	書き方の工夫が必要な放送原稿。	訓練が実現したのはなぜか、訓練に参加 した住民は、どう思ったのかが分かるよ うな編集。	言葉だけではなく、目で見て分かるよ うな工夫した撮影。	どういった内容を中心に伝えるかを改 めて確認したスタッフ。	富士山は現在も活動中の火山であり、 また有珠山の噴火から訓練の大切さを学 んだことから、住民の理解が得られ ると判断し訓練することを決めた県 の人たち。	噴火に危機感がなく、訓練に積極的 ではない住民の感情のため防災訓練に ふみ切れなかった県の人たち。	取材で最も大切なのは正確さ。	なぜ富士山噴火の訓練が行われなかつ たのか、なぜ訓練をすることになった のか、を中心に取材することを決めた スタッフ。	富士山の噴火に備えた訓練が初めて 行われることに驚いたデスク。	多くの人に関心をもち、特集として 取り上げる。	要点
値打ち 願い	放送	放送用 原稿 工夫	編集	撮影 工夫	取材結 果 中心	住民の 理解	危機感 積極的 住民感情	正確さ	疑問	おどろ いた 関心	関心 特集	中心語 句

